

## 【NEWS RELEASE】

2021年4月30日

各位

株式会社三井住友銀行

三和油化工業株式会社に「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、三和油化工業株式会社（代表取締役社長：柳 均）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例などを還元させていただく融資商品です。

今回の三和油化工業株式会社に対する評価結果は、「環境マネジメント」、「従業員への配慮」、「ステークホルダーとのコミュニケーション」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において良好なESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① 事業活動に伴うCO2排出量削減に向けて、具体的な対策を進めておられるとともに、使用済廃溶剤のリサイクルや高純度化技術等のビジネスを通じて、資源の有効活用や半導体・電池業界等の環境負荷削減に貢献しておられる点
- ② 働き方改革を推進し、時間外労働時間は減少傾向にある。また、育休取得者数や有給休暇取得率等の実績値もグループ全体で把握しておられる点
- ③ 環境・安全報告書において、サステナビリティ経営を推進する企業姿勢を明確にし、サステナビリティに関する項目別に、取り組むべき内容を明文化しておられる点

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標12：つくる責任つかう責任」「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



当社工場において、産業廃棄物をリユース・リサイクルすることにより、資源有効利用と環境負荷低減を実現しております。この事業活動そのものがE S G / S D G s に直結しております。



従業員への配慮や働き方改革などの取組状況を申請し、愛知県川谷市から認定を受けております。取組の成果として、業務効率化や時間外労働の削減などの効果が出ております。



サステナビリティ経営の一環として、地域住民の皆さまとの交流会（工場見学含む）や月に一度の合同臭気パトロールなどによりコミュニケーションを図っております。

<ご参考>

### ※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

### ※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。